



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社五合

5

## BtoB 企業における産学連携による BtoC 商品の企画発売

### 1. 五合が産学連携活動に着手するまで

10

株式会社五合（以下、「五合」）は愛知県春日井市にある 2000 年創業の企業である。資本金 2,500 万円、従業員数 6 名の、いわゆる中小企業であり、社長の小川宏二氏が創業以来同社の技術、製品開発、営業など多岐にわたる業務の中心を担ってきた。これまでに同社は「愛知ブランド企業<sup>[1]</sup>」に認定されたり（2017 年 2 月）、中小企業庁「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社<sup>[2]</sup>」（2019 年 6 月）や経済産業省「地域未来牽引企業<sup>[3]</sup>」（2020 年 10 月）に選定されたりするなど、中小企業ながらも注目を浴びている企業である。

15

同社の主力商品は天井クレーンコントローラ安全システム「zen」の製造販売と完全無機塗料「ゼロ・クリア」（特許取得・商標登録済）の製造販売・加工である。本ケースで取り扱う「ゼロ・クリア」とは一言でいうと「水だけで汚れが落とせる 100%無機塗料」であり、高温（約 300 度）で焼き付けることで主に金属類、磁器、ガラスなどに塗装できる塗料である。

20

<sup>[1]</sup> 愛知県経済産業局産業部産業振興課によると、愛知ブランド企業とは「優れた理念、トップのリーダーシップのもと、業務プロセスの革新を進め、独自の強みを発揮し、環境に配慮しつつ、顧客起点のブランド価値等の構築による顧客価値を形成している製造企業」と定義されている。

<sup>[2]</sup> 「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」事例集では世耕弘成経済産業大臣（当時）は 300 社の選定理由を「『生産性向上』、『需要獲得』、『担い手確保』の 3 つの分野を軸にしつつ、事業承継、働き方改革、IT 利活用などに取り組み、活躍する企業」であるとしている。

25

<sup>[3]</sup> 「地域未来牽引企業」では「地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業」が選定されている。

本ケースの内容は坂田隆文（2021）「中小 BtoB 企業による商品企画を通したプロモーション戦略の実践とその効果検証：産学連携型商品企画によるブランド構築」（日本マーケティング学会カンファレンス・プロシーディングス Vol.10、ベストポスター賞受賞）及び坂田隆文（2021）「中小 BtoB 企業による産学連携型商品企画によるブランド構築：そのプロモーション効果と本業回帰」（日本マーケティング学会ワーキングペーパー Vol.8 No.5）をもとに作成されたものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 坂田隆文（2022 年 1 月作成）